

地域連携 センター

NEWS



ノーベル賞受賞記念講演会「iPS細胞がひらく新しい医学」山中伸弥先生 平成30年3月5日

目次

- 理事長・学長あいさつ 2
- 地域連携センター長・地域交流部門長あいさつ 2
- 副センター長・産学官地域連携部門長あいさつ 2
- 女性生涯学習研究部門長あいさつ 2

平成29年度事業報告

【巻頭特集】

- 山中伸弥先生ノーベル賞受賞記念講演会 3
- 第9回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム in 福岡 4
- 福岡女子大学社会人学び直しプログラム 5
- 福岡女子大学美術館アートマネジメントアドバンス講座 6

【地域交流部門】

- 他機関との連携 7
- 地域との交流・イベントへの参加 8
- 本学主催イベント 9
- 出前講義等 10、11

【産学官地域連携部門】

- 開催した講演会・セミナー 12
- 参加した展示会 開催した講演会・セミナー
共同研究・受託研究会等に係る外部資金獲得の状況 13

【女性生涯学習研究部門】

- 女性トップリーダー育成研修【研修報告】 14、15
- 平成29年度福岡女子大学公開講座 16
- 福岡女子大学生涯学習カレッジ2017 17
- 平成29年度公開講座・講演会等開催一覧 18
- 福岡女子大学基金 学術研究助成金/
地域連携センターからのお知らせ 19
- 平成30年度公開講座のご案内 20

ごあいさつ

地域の皆様と共に活動できる大学へ

理事長・学長 梶山 千里



1923年の福岡県立女子専門学校開校から掲げてきた建学の精神「次代の女性リーダーを育成」を目標として教育・人材育成の成果を引き継ぎ、伝統校の誇りを継続しながら「+a」の大学を目指してきました。ここ数年、福岡女子大学は目覚ましい変革を遂げています。2011年以来、オープンキャンパスの参加者数と取材・報道数の著しい増加、体験学習を始めとする授業内容の充実、外部資金獲得数と額の増加、女子大美術館の新設とそれを使った「感性学習」のスタート、キャンパス再整備等、福岡女子大学は教育の質＝「大学力」と「知名度」で目覚しく進化しています。この地域連携センターの1年間の活動をまとめた地域連携センターニュースをお届けいたします。これからも、地域社会に開かれた大学として努力してまいります。地域センターや本学の地域貢献活動にご関心をお持ちになりましたら、ぜひ、お気軽にお問い合わせください。地域の皆様と一緒に活動できることを願っております。



地域・社会と大学の交流を推進するために

地域連携センター長・地域交流部門長

国際文理学部 国際教養学科 教授 チョウドリ マハブブル アロム

地域連携センターは、社会との連携に応じた学びを提供する「女性生涯学習研究部門」、地域文化の振興や地域社会の発展に寄与する活動を行う「地域交流部門」、企業・公的研究機関との関係強化による研究・教育の活性化を目指す「産学官地域連携部門」の3部門で構成されており、社会・地域連携を推進しています。

本センターが中心となって、本学の特徴を生かした教育・研究活動、地域の自治体や学校等の諸団体の事業への協力など、学生・教職員による多様な社会・地域連携活動を行ってきています。

社会・地域連携に関する相談、提案を当センターまでお気軽にお寄せいただけますようお願いいたします。



地域社会に根ざした産学官連携活動の展開

副センター長・産学官地域連携部門長

国際文理学部 食・健康学科 准教授 石川 洋哉

東部地域を中心とした地域社会の活性化に対して、本学は真剣に取り組まなければなりません。本学の産学官連携活動では、地域社会と強く密着して展開することに大きな意味を持っています。昨年度は、宗像市と包括連携協定をむすび、「食」や「文化芸術」等に関わる様々な連携活動を進め、本年度はさらに「健康」をテーマに連携活動の展開を進めています。2018年2月には「働く人の健康」をキーワードとして、古賀市との共催のもと産学官技術交流会セミナーを企画し、福岡県内の企業・地域住民の方々を中心に活発な意見交換を行っています。古賀、宗像、福津市などとの連携は今後さらに深化させます。また、東部地域大学連携として福岡工業大学・九州産業大学との共同研究も推進しています。その他、エコテック展示会でのブース出展、各種交流事業において本学の取り組みに関する情報発信を積極的に行っており、今後さらなる共同研究等の発展が見込まれます。今後ともご協力を宜しくお願い致します。



地域における生涯学習と女性リーダー育成の拠点として

女性生涯学習研究部門長

国際文理学部 国際教養学科 准教授 徐阿貴

女性生涯学習研究部門は、女性生涯教育資料室を前身とし1985年に設立されました。地域連携センターの3部門でもっとも長い歴史を持ち、地域に開かれた学びの場として歩んでまいりました。昨年度に引き続き本年度も女性トップリーダー育成研修を実施し、また「第9回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウムin福岡」主催校として任務に当たらせていただきました。公開講座では、英語やエネルギー政策、移民、充実した暮らし、韓国司法制度など多彩なテーマを取り上げています。学術研究助成は本学学生や卒業生を対象にしていますが、本年度は社会人院生によるワーク・ライフ・バランス研究が採用されました。本学図書館の女性学・ジェンダー研究の蔵書も年々充実させており、ぜひご利用いただければと思います。幅広い年齢層の方々的好奇心にこたえ、また変化著しい現代社会にあって長いスパンで女性の学びを支えるべく、これからも努力してまいります。

巻頭特集

今年度より地域連携センター事業として「福岡女子大学社会人学び直しプログラム」と「福岡女子大学美術館アートマネジメントアドバンス講座」が新たに加われました。特別講演会「山中伸弥先生 ノーベル賞受賞記念講演会」では県内の高校生をはじめ多くの受講者に向けて山中先生より熱演いただきました。

また、九州・沖縄地区で女性研究者支援事業に携わる11大学が参加するシンポジウム「第9回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウムin福岡」では福岡女子大学が主催校を務めました。

山中伸弥先生 ノーベル賞受賞記念講演会

「iPS細胞がひらく新しい医学」

平成30年3月5日（月）、アクロス福岡イベントホール(福岡市中央区天神)において、山中伸弥先生 ノーベル賞受賞記念講演会「iPS細胞がひらく新しい医学」を開催しました。本講演会は、ノーベル賞受賞者の研究に関する業績のみならず、探究心や向上心を受賞者ご自身に語っていただき、若者の将来への情熱と人間力に結びつけてもらうことを目的に、平成23年度より不定期に開催しているもので、今年度で3回目の開催となります。

この日は定員を上回る多数のご応募をいただき、高校生・大学生を中心に、約900名の方が参加されました。山中先生は研究者を志した経緯やアメリカでの研究生生活、帰国後の苦労など経験談をもとに、「VW」の大切さについてお話しされました。Vはビジョン、Wはハードワークのことで、長期的なビジョンを持ち、努力を続けた結果が現在につながっていると話され、聴衆の方々は熱心に聞き入っていました。また、留学時代の経験を基に、高校生や大学生のうちに、ぜひとも英語を身につけて欲しいと語られました。

講演後の質疑応答では、高校生の皆さんから多数の質問を受け、山中伸弥先生はジョークも交えながら丁寧に回答されるなど、盛況のうちに講演会を終了しました。



▲山中伸弥先生講演の様子



▲熱心に語られる山中伸弥先生



▲熱心に聞き入る高校生の皆さん



▲高校生による花束贈呈とお礼の言葉



▲梶山学長による閉会の挨拶



▲会場の皆さんと集合写真

巻頭特集

第9回 九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウムin福岡

「女性リーダー育成と大学の役割」

平成29年9月25日(月)、本学C201教室において、「女性リーダー育成と大学の役割」をテーマに、九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウムin福岡を開催しました。本シンポジウムは、九州・沖縄地区で女性研究者支援事業に携わる大学等のネットワーク「九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク」参加機関によって、平成21年度から毎年1回開催されており、本学は平成26年度から参加しています。

本学が主催校となった第9回は、九州・沖縄地区における更なる女性研究者支援の発展、特に女性研究者及び学部生・院生も含めた次代を担う女性リーダーの育成を図ることを目的に開催し、学内外から164名が参加しました。

第一部の基調講演では、公益財団法人日本女性学習財団理事長 村松泰子先生に「大学の男女共同参画と求められる女性リーダー」をテーマにご講演いただきました。講演では、前東京学芸大学学長としてのご経験を交えながら、組織の意思決定の場に女性がいる景色をつくる必要性を説かれました。

続く第二部のパネルディスカッションでは、「女性リーダー育成のためのアクションプラン」をテーマに、放送大学福岡学習センター所長 菊川律子先生にコーディネーターをご担当いただき、10大学の理事・副学長が各大学の取り組みについて紹介しました。

また、各大学の報告の後には、コメンテーターとして基調講演講師の村松先生と国立研究開発法人科学技術振興機構プログラム主管 山村康子氏にもご参加いただき、各大学の取り組みに対し意見交換がなされました。また、会場からも多くの質問が上がり、盛況のうちに終了しました。



▲第一部：基調講演



▲第二部：パネルディスカッション

■九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク

九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク(愛称：Q-wea(きゅーうい))は、九州・沖縄地区で女性研究者支援事業に携わる大学等が自由に情報等を交換できるネットワークです。

女性研究者支援や働きやすい環境づくりに関する情報交換を進めるとともに、九州・沖縄地区での先例的モデル群としての相乗効果や、多様なアイデアを広く発信するような場をつくっていきたく考えています。

平成29年10月現在：12機関 ▶



●本学の女性研究者支援に関する取り組み

本学では、平成25年度に文部科学省 科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」に採択されたことを契機に、「教育・研究・大学運営を牽引する女性研究者の育成」「次代の女性研究者の育成」に取り組んでいます。

■主な取り組み

●「女性研究者支援者制度」

妊娠中や乳幼児または学齢児童の養育中、並びに介護中の女性研究者、またこのような女性研究者をパートナー(配偶者など)に持つ本学の男性研究者を対象に、実験・調査の補助や文献収集などの支援を受けられる制度を設けています。研究支援者として本学学部生や院生が活躍しています。

●「一時保育」

乳幼児または学齢児童を養育している本学の教職員を対象に、休日等の職務の際に本学の託児施設で一時的な保育を受けられるよう、環境を整えています。

●「女性短期海外派遣研修」

本学の女性教職員を対象に、海外の研究機関・教育機関において、研究・教育内容や制度を学び、経験することを通して、上位職としての資質を養成することを目的に実施しています。



▲学内託児室

福岡女子大学『イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム』

4年目を迎えた、福岡女子大学の社会人学び直しプログラム「イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム」は、企業や組織で働いている方、起業を目指している方、子育て中で仕事を中断されている方、またキャリアアップ、ステップアップを目指している女性を対象とした講座です。

開講以来100名近い修了生が、「自ら学ぶ」「他者から学ぶ」スタイルで深めた対話を促進するファシリテーションや、安心安全な場づくりのスキルを活かし、職場や地域で自分らしく自然にイキイキと活躍されています。

■ 講座の様子



▲「ステークホルダーマップ」で物事を具体化



▲レゴブロックを使ってストーリーを紡ぐ



▲グラフィックレコーディングで授業を可視化

■ 平成29年度最終成果（発表テーマ）

みんな違ってもみんな同じ

災害時における聴覚障がい者の避難について

災害時（平時にも）孤立しがちな聴覚障害者を理解し、彼らが本当に必要とされている情報を提供できる仕組みを作りたい。災害時の情報収集マニュアルや日頃からの災害対策教育や、避難所生活や災害時に必要な情報の送受信の仕組み作りを検討。

ONE to TWO

私のRe履歴

自分のキャリアや生き方に迷いを持っている人、何かを始めたいがきっかけがない人、働き方改革によって終業後の時間ができた会社員などに、本業とは違う活動をすることで充実感を味わってもらおう場やきっかけづくり。

米ぬかの旅

米ぬかで世界にうるおいを!

酵素の持つ力や効果について検証。自身が酵素風呂を利用するようになって体調がよくなり、活力が出てきたことから、美容施設での酵素の活用方法について考察したい。

田額

「緑／植物」「揺れる」をキーワードにした五感に触れる癒し瞬間

原体験である田んぼのある風景を日常に取り入れるための造形物。田んぼの稲が風にそよぐ様子や稲の触感など通して五感の癒しにつながる。

日是好日

ことばの交換

セルフメンテナンスをテーマに、一步を踏み出す、元気になる、そして一步を踏み出すために背中を押してくれるMy名言集の作成。迷ったり辛くなったり落ち込んだり…そんな時にこのオリジナル名言集を開くことで、少しでも前を向けるよう、お役にたちますように。

ぐんぐん

子どもたちと家族にもつくり・科学の楽しさを

子どもたちに物づくりの楽しさを伝える場づくり。少し難しい手順を克服して作品を作った達成感と、モノづくりの没頭する楽しさを伝える。子どもだけでなく、親世帯も一緒に楽しめる場を提供したい。

せなまこころ

外国人と日本人の共生社会をめざして

外国人はなかなか地域のことを知る機会がなく、ちょっとした困りごとを相談できる相手がいない。外国人が地域に溶け込みやすい、住み続けやすい町をつくりたい。人や国の不平等をなくして、外国人が住みやすい町は先住の日本人にとっても住みやすい町になるはず。

花々

中山間地と都市部のニーズを繋ぐ

現在、農村の多くは働き手不足に悩んでいる。都市部に住む人にとって土や自然に触れることはストレス解消にもなる。気軽に農業体験ができ、1回限りでなく継続できるスタディツアー等の企画をしたい。

POP UP

学び続けるためには何が必要か?

政治や社会保障など難しいと思われることを楽しく気軽に（ポップに）学ぶ場を提供したい。若者を対象とし、真面目に語ることで地域や政治を身近に感じ、関わる人とのコミュニケーションも緊密になる。

癒し紅茶

ハーブティーによるセルフメンテナンス

「癒しとは何か?癒される状態とはどんな状態か?」を追求し、自分で自分を癒すことができるセルフメンテナンス紅茶の効果を探求。

■ H29年度履修者状況 (単位:名)

| | | | |
|-------------|-----|-----|-----|
| 定員 | 20 | | |
| 修了者合計 | 25 | | |
| 内訳 | 応募者 | 入学者 | 修了者 |
| 通期生 | 21 | 21 | 21 |
| 単モジュール生 | 4 | 4 | 4 |
| 一般応募者 | 15 | | |
| 企業派遣者 | 10 | | |
| 職業訓練給付制度利用者 | 4 | | |



▲ポスターセッション



▲集合写真

巻頭特集

平成29年度 福岡女子大学美術館アートマネジメントアドバンス講座

福岡女子大学美術館の所蔵作品や地域の文化資源を活用して、地域文化の熟成を担う人材育成を目的とした「平成29年度 福岡女子大学美術館アートマネジメントアドバンス講座」を開講しました。平成29年度は前半と後半に分けて講座を開催しており、前半（6月～9月）ではアートマネジメントのスキルアップのための発展・実践として、受講生が福岡女子大学美術館の所蔵作品を活用した企画を立案・実施しました。8月には受講生が企画した2つのワークショップが開催されました。実践を通して、受講生は運営や交渉、チームワークなど多くのことを学ぶことができました。

■ 受講生の実践企画（ワークショップ）

①「出会いは夜の美術館だった」君にずっと書けなかった手紙を今夜書こう～美術館にて～

- 日時：8月18日(金) 19:00～21:00
- 会場：福岡女子大学美術館
- 対象：18歳以上（15名）

参加者が美術館の作品を鑑賞後、選んだ作品から想起される様々な思いを言葉にし、心に思う相手に向けて手紙を書きました。手紙の共有を通して参加者同志の交流も生まれました。



▲コーディネーターの誘導で美術館の作品を鑑賞する様子



▲参加者が書いた手紙を共有する場面では、様々な思い出が溢れました

②「未来へのおくりもの いこうよ*びじゅつかん えんげき編」

- 日時：8月19日(土) 13:00～15:00
- 会場：福岡女子大学 多目的演習スペース
- 対象：小学4・5・6年生（25名）

子どもたちが美術作品から物語をふくらませ、演劇で表現しました。劇で使う小道具も自分達で作り、最後はグループごとに全員の前で発表しました。子どもたちの笑い声の飛び交う賑やかな一日となりました。



▲美術館にある絵画の中から演劇にする作品を選ぶ様子



▲各グループで考えたオリジナルの演劇を全員の前で発表

後半（10月～3月）は、「障がい者とアート」をテーマに、多様性を認める社会実現に向けた文化芸術の役割を果たすアートマネジメント人材育成をめざし、宗像市と連携して「宗像市をフィールドとしたアートマネジメント講座」を開催しました。宗像市の障がい者福祉施設の協力を得て、アンケート調査やヒアリング調査を行ないました。その結果を踏まえて、平成30年度には、受講生による企画実施、あるいは政策提言を行う予定です。宗像市を一つのフィールドとして実践することで、将来的には他の自治体および他分野にも応用できるようなアートマネジメント人材の育成が期待されます。

地域交流部門

地域交流部門では、地域との交流を大切にしております。同時に、地域ニーズの把握に努め、本学の持つ知的資源と、地域ニーズのマッチング等の事業を展開することで、地域の活性化に寄与してまいります。

他機関との連携

● 福津市連携事業 (連携協定に基づく福津市との連携)(教員)

■ 中学生への理系のススメ

日程：11月3日(金・祝)
場所：福岡女子大学 研究棟
講師：池田 宜弘 教授
瀧下 清貴 教授

中学1～2年生を対象とした公開講座「中学生への理系のススメ」を開催しました。参加した福津市と福岡市東区14名の中学生は実際の研究に使用するクロマトグラフィーや顕微鏡を用いた実験を通して「理系の面白さに触れる」"楽しみながら学ぶ"ことを体感しながら、集中して実験に取り組みました。



これからも福津市連携事業を通して、福津市民の皆様また地域の皆様との交流を深めていきたいと思います。

■ 郷育カレッジ

「情報活用☆超入門～スマホから人工知能まで～」

日程：10月11日(水)
場所：福津市中央公民館
講師：藤野 友和 准教授

福津市では、「ひと、もの、こと」を題材に、さまざまな分野で講座を展開する独自プログラム「郷育カレッジ」が行われています。本講座では、情報技術 (IT) を活用した製品やサービスを有効に使うためのポイントや、近年話題となっている「AI」について紹介しました。



■ 福津市委員等

福津市食育推進会議 会長 梅木 陽子 講師

● 連携協定に基づく福津市との連携(学生)

■ 平成29年度GO!いくフェスタ

日程：8月5日(土)
場所：福津市中央公民館

今年度の郷育カレッジオープニングイベントである「GO!いくフェスタ」は、「郷育カレッジ開講式」と「体験してみよう!郷育カレッジ」の二部構成で行われ、本学放送サークルの学生が司会を務めました。



● 福岡市香住丘公民館共催

■ そば打ち体験教室

日程：1月21日(日) 場所：福岡市香住丘公民館
参加者：18名(留学生15名、日本人学生2名、職員1名)

そば打ちという日本文化を通して、地域の方と留学生が楽しく交流を深めることを目的として、平成24年度から開催しています。今年は、留学生を中心に17名の学生が参加しました。学生たちは、おそばを食べたことはあっても、自分で打つのははじめてでしたが、福岡そばの会の皆様のご指導のもと、打ち立てのおいしいおそばをつくることができました。



● 東部地域大学連携

福岡女子大学・九州産業大学・福岡工業大学は、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に寄与することを目的として、平成23年度に連携協定を締結しました。各大学の専門性を生かした研究連携や、学生による地域貢献・交流活動を行っています。

■ 学生による活動

・香椎浜清掃活動

日程：9月11日(月)
場所：御島グリーンベイウォーク(香椎浜片男左海岸)
参加者：学生9名、職員4名(うち本学学生2名、職員1名)

東区花火大会の翌日に実施されている香椎浜周辺の清掃活動に、東部地域大学連携として初めて参加しました。思わぬところに空き缶やゴミが放置されていることに驚くとともに、花火大会が多くの地域ボランティアの方に支えられていることを実感しました。



・女子学生のための防犯推進協議会

本協議会は、福岡市東区で増加している性犯罪を防ぐために何かできないかという学生自身の呼びかけで、平成28年度に発足しました。福岡東警察署と連携しながら啓発活動等を行っています。

Twitter:https://twitter.com/jyoshi_bouhan



シンボルマーク

東部地域大学連携の女子学生が集い、犯罪防止啓発活動を行うというコンセプトをもとに学生自身がデザインしたものです。女性のシルエットは東区の形を、周りの花は東区の花と制定されているコスモスで、東部地域大学連携の大学を表しています。

〈性犯罪等防止キャンペーン〉

今年度は次のキャンペーンに参加し、啓発チラシやグッズ等を配布しながら、注意喚起を行いました。

※本学学生が参加したもののみ

| 日 | 場所 | 参加者 |
|-----------|-------|----------------------------|
| 4月27日(木) | JR香椎駅 | 学生15名、職員13名(うち本学学生4名、職員1名) |
| 10月20日(金) | JR千早駅 | 学生7名、職員5名(うち本学学生3名、職員1名) |



〈平成29年度安全・安心まちづくり県民の集いふくおか〉

日程：10月7日(土)
場所：エルガーラホール 大ホール
参加者：学生3名、職員4名
(うち本学学生1名、職員1名)

本協議会が行ってきた活動に対し福岡県警察本部からご推薦いただき、福岡県における防犯功労者として表彰されました。当日は各大学から学生代表1名が出席しました。



■ 教員による活動

・東部地域大学連携 東区委託事業 シンポジウム 「超高齢・長寿社会を支える地域力について考える

～3大学研究者による調査・研究から見てきたもの～

日程：3月10日(土) 場所：なみきスクエア なみきホール
参加者：157名

東部地域大学連携では、福岡市から「東部地域三大学の連携及び専門性を生かした大学・地域まちづくり業務」の委託を受け、平成28年度から3大学の研究者がそれぞれの専門性を生かした調査・研究を行っています。

今年度は、2年目の成果報告と研究成果に基づくパネルディスカッションを行い、本学からは、中村大輔准教授と学生が登場しました。



地域交流部門

地域との交流・イベントへの参加

● 香住っ子ひろば

日 時：土曜日（月2～3回） 10：00～15：00
場 所：福岡市香住丘公民館 他

「香住っ子ひろば」は、小学校週5日制導入をきっかけに、土曜日の子もたちの居場所づくりを目的として、香住丘校区有志の方々を中心に設立されたもので、現在は香住丘校区青少年育成連合会によって運営されています。本学では、平成24年度から本事業に協力しており、昨年度からは寮のチーム活動*の一環として参加しています。

学生たちは、各種活動のサポートや自分たちが企画したプログラムを通して、小学生との交流を深めました。

* 本学では、初年次全寮制教育を実施しており、その活動の一環として、ボランティア、地域イベントへの参加、国際交流活動等、テーマ別にチームに分かれた活動を行っています。



● 香住丘校区合同パトロール

日 時：毎月第3金曜日 20：00～20：50
場 所：福岡市東区香住丘校区

本学が所在する福岡市東区香住丘校区では、毎月第3金曜日に、校区の安全のため夜間パトロールが行われており、本学も寮生である1年生を中心に参加しています。昨年度からは寮のチーム活動の一つとして取り組み、今年度は学生・教職員106名が参加しました。



● 第1回なみき芸術文化祭

日 程：6月4日(日)
場 所：並木広場、なみきスクエア等

福岡市東区に平成28年度にオープンした香椎副都心公共施設「なみきスクエア」において、「第1回なみき芸術文化祭」が開催されました。

本学は、福岡市東区から東部地域大学連携（P7）への「食の国際交流」をテーマにした出店依頼を受け、留学生と寮のチーム活動の一環として1年生が参加しました。学生たちは、留学生の指導のもと「チョコレートボール」、「バナナカップケーキ」、「Tikki」、「パンケーキ」を販売し、閉会を待たずに完売となりました。地域の方々や交流するとともに、入学間もない1年生たちにとって、学生間の交流を深める機会にもなりました。



● 第25回香住丘校区夏まつり

日 程：7月29日(土)
場 所：かしいかえん 大テント

かしいかえんにおいて、香住丘校区の夏まつりが開催され、本学放送サークルがステージイベントの司会を担当し、合唱同好会がステージ出演、寮のチーム活動の一環として参加した1年生が受付や抽選会等のお手伝いをさせていただきました。

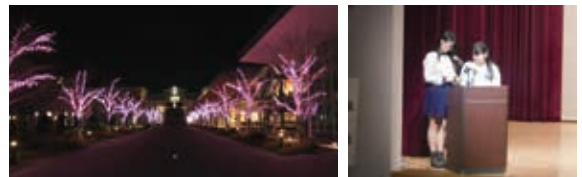
また、香住丘公民館並びに地域の皆様のご好意により、浴衣の貸出や着付けをしていただき、留学生を含む学生たちが浴衣姿で参加することができました。心より御礼申し上げます。



● 第19回香住丘音楽会

日 程：12月9日(土)
場 所：福岡女子大学 大会館 大ホール

香住丘音楽会は、福岡市立東市民センターの移転に伴い、昨年度より本学大会館を会場として開催されています。今年度は、本学の学生が司会、照明等の運営に協力した他、合唱同好会が地域の老若男女で構成される「WAIWAI合唱団」に参加しました。また、当日はキャンパスイルミネーション期間中（12/4～12/25）でもあり、音楽会終了後には華やかな雰囲気を楽しんでいただきました。



● 福祉施設等訪問

本学では、学生や教職員が大学近隣の福祉施設等を訪問させていただき、交流を深めています。



▲ 東香園来園者との交流（1年生）



▲ 東香園合同発表会への出演（教員・学生）



▲ 合唱同好会七夕コンサート

本学主催イベント

● 高校生のためのイングリッシュ・キャンプ

日 程：10月7日(土)～9日(月・祝)

場 所：福岡女子大学 講義棟、国際学友寮 なでしこ 他

九州内の女子高校生1、2年生39名が参加し、「高校生のためのイングリッシュ・キャンプ」を開催しました。これは、参加者の英語コミュニケーション能力強化や異文化理解を目的として平成23年度から実施しているもので、今年で7回目となります。

参加者は、本学学術英語プログラム (Academic English Program : AEP) 講師による講義を受講し、英語によるディスカッションやリサーチ等、大学の講義を体験しました。また、3～4人1組のグループに分かれ、興味のある国とトピックについてポスターを作成し、最終日には英語によるポスタープレゼンテーションを行いました。どのグループも工夫を凝らした発表が行われ、その後の閉講式では優れたグループと個人が表彰されました。

期間中は、本学1年生及び留学生が暮らす国際学友寮 なでしこの大広間に宿泊し、料理づくりや英語で行うゲーム等を通して、大学生との交流を楽しみました。

参加者の各種サポートを行った本学学生にとっても、高校生が熱心に取り組む姿は刺激となりました。



● 第二回福岡女子大学新能

日 程：5月29日 (月)

場 所：福岡女子大学 大学会館

福岡女子大学美術館創設を始めとする「感性教育」の一環として、国際学友寮 なでしこで生活する留学生や1年生を中心に、地域の方や卒業生もお招きして、「第二回福岡女子大学新能」を開催しました。

当日は、今井明副学長、江島玲子同窓会副会長、花田茉依香さん (国際教養学科1年)、胡越児さん (環境科学科1年) による火入れ式も行われ、会場は厳粛な雰囲気になりました。

また、人間国宝 山本東次郎氏による狂言「素袍落」や観世喜正氏による能「土蜘蛛」が上演され、約400名の参加者は約2時間にわたり華麗な舞を堪能しました。



地域交流部門

出前講義等

1. 出前講義

※ 同じ開催日、学校でも受講生が異なる場合は、開講回数に応じて記載しています。

| No. | 開催日 | 学校名 | 学年 | 人数 | 教員名 | 内容 |
|-----|----------------|--------------|-------|-------|------------------|------------------------------|
| 1 | 2017年 6月10日(土) | 九州国際大学付属高等学校 | 1~3 | 26 | 片桐 義範 教授 | チーム医療で取り組む栄養管理 |
| 2 | 2017年 6月22日(木) | 福岡県立嘉穂高等学校 | 2 | 22 | 石川 洋哉 准教授 | 食品のはたらきを考える |
| 3 | 2017年 6月29日(木) | 福岡県立八幡南高等学校 | 2 | 24 | 橋本 直幸 准教授 | 外国人はどうやって日本語を習得するのか |
| 4 | 2017年 6月29日(木) | 福岡県立八幡南高等学校 | 1 | 12 | 橋本 直幸 准教授 | 外国人はどうやって日本語を習得するのか |
| 5 | 2017年 7月 5日(水) | 福岡雙葉高等学校 | 1 | 54 | 深町 朋子 准教授 | 海と日本と国際法 |
| 6 | 2017年 7月 5日(水) | 福岡雙葉高等学校 | 2 | 51 | 深町 朋子 准教授 | 海と日本と国際法 |
| 7 | 2017年 7月11日(火) | 福岡県立育徳館高等学校 | 2 | 22 | 馬場 優 准教授 | EU(ヨーロッパ連合)ー統一ヨーロッパの建設は可能か? |
| 8 | 2017年 7月13日(木) | 佐賀県立武雄高等学校 | 1 | 29 | バスマシリ・ジャヤセーナ 准教授 | グローバル化と国際協力を考えるー日本の国際協力を中心にー |
| 9 | 2017年 7月13日(木) | 佐賀県立武雄高等学校 | 2 | 20 | バスマシリ・ジャヤセーナ 准教授 | グローバル化と国際協力を考えるー日本の国際協力を中心にー |
| 10 | 2017年 8月24日(木) | 福岡県立小倉南高等学校 | 1 | 102 | 辻 信一 教授 | クイズで学ぶ食の安全 |
| 11 | 2017年 9月 7日(木) | 福岡県立香椎高等学校 | 1~3 | 1,074 | 豊貞 佳奈子 准教授 | 素敵な仕事の見つけ方 |
| 12 | 2017年10月20日(金) | 福岡県立青松高等学校 | 1~3 | 25 | 梅木 陽子 講師 | 管理栄養士の仕事とは |
| 13 | 2017年10月20日(金) | 福岡県立門司学園高等学校 | 中1~高2 | 13 | 山下 哲生 教授 | 外交官という職業 |
| 14 | 2017年10月20日(金) | 福岡県立門司学園高等学校 | 中1~高2 | 10 | 山下 哲生 教授 | 外交官という職業 |
| 15 | 2017年10月21日(土) | 九州国際大学付属高等学校 | 1~3 | 41 | 山下 哲生 教授 | 外国語の学び方 |
| 16 | 2017年11月 9日(木) | 福岡県立福岡中央高等学校 | 2 | 70 | バスマシリ・ジャヤセーナ 准教授 | 国際社会における日本の役割 |
| 17 | 2017年11月 9日(木) | 福岡県立福岡中央高等学校 | 2 | 117 | 橋本 直幸 准教授 | 外国人はどうやって日本語を習得するのか |
| 18 | 2017年11月15日(水) | 福岡県立伝習館高等学校 | 1・2 | 33 | 村長 祥子 准教授 | 英語の歴史・なぜ「5文型」が大事なのか |
| 19 | 2017年11月15日(水) | 福岡県立伝習館高等学校 | 1・2 | 21 | 石川 洋哉 准教授 | 食品のはたらきを考える |
| 20 | 2018年 2月 8日(木) | 福岡県立八女高等学校 | 1・2 | 474 | 庄山 茂子 教授 | 日々の学びや経験が未来を創る |

2. スーパーサイエンスハイスクール

● 福岡県立香住丘高等学校 (2年生)

【環境科学探究講座】

| No. | 開催日 | 教員名 | 内容 |
|-----|----------------|---|------------------------------|
| 1 | 2017年 4月19日(水) | 田村 典明 教授 池田 宜弘 教授 馬 昌珍 教授 猪股 伸幸 准教授 大坪 繭子 助手 | 事前指導 |
| 2 | 2017年 4月26日(水) | 田村 典明 教授 大坪 繭子 助手 | 光合成：光エネルギーによって駆動される電子の流れを調べる |
| 3 | 2017年 4月26日(水) | 池田 宜弘 教授 | 表面張力を測定する |
| 4 | 2017年 5月10日(水) | 猪股 伸幸 准教授 | ショウジョウバエの性比の観察 |
| 5 | 2017年 5月10日(水) | 馬 昌珍 教授 | 発電モデル実験と排ガスの測定 |

【探究研究実験】

| No. | 開催日 | 教員名 | 内容 |
|-----|----------------|-----------------------------|---------------|
| 1 | 2017年 5月 1日(月) | 池田 宜弘 教授 | 探究研究に関する訪問指導 |
| 2 | 2017年 7月24日(月) | 池田 宜弘 教授 吉村 利夫 教授 藤岡 留美子 助教 | 研究機器を使った探究実験 |
| 3 | 2017年 7月26日(水) | 池田 宜弘 教授 吉村 利夫 教授 藤岡 留美子 助教 | 研究機器を使った探究実験 |
| 4 | 2017年 7月28日(金) | 池田 宜弘 教授 吉村 利夫 教授 藤岡 留美子 助教 | 研究機器を使った探究実験 |
| 5 | 2017年 8月11日(金) | 池田 宜弘 教授 | 探究研究に関する訪問指導 |
| 6 | 2017年 8月23日(水) | 池田 宜弘 教授 | 探究研究に関する訪問指導 |
| 7 | 2017年12月25日(月) | 池田 宜弘 教授 | 探究研究に関する相談・指導 |
| 8 | 2018年 1月 5日(金) | 池田 宜弘 教授 | 探究研究に関する相談・指導 |

【委員会等】

| No. | 開催日 | 教員名 | 内容 |
|-----|----------------|------------------------------------|----------------------------|
| 1 | 2017年 7月 7日(金) | 梶山 千里 理事長・学長 池田 宜弘 教授 松尾 亮太 准教授 | 運営指導委員会 研修成果報告会・課題研究発表会 |
| 2 | 2017年12月 8日(金) | 梶山 千里 理事長・学長 池田 宜弘 教授 松尾 亮太 准教授 | 運営指導委員会 生徒課題研究発表会 |

3. 職場体験学習等

| No. | 実施日 | 学校名 | 教員名 | 内容 |
|-----|-------------------------|-------------|----------------------------------|--|
| 1 | 8月30日(水) | 志免町立志免東中学校 | 豊貞 佳奈子 准教授 チョウドリ マハブブル アロム 教授 | 3年生「総合的な学習の時間」上級学校訪問 |
| 2 | 8月30日(水) ～9月1日(金) | 福岡市立香椎第1中学校 | チョウドリ マハブブル アロム 教授 石川 洋哉 准教授 | 職場体験学習 8月30日(水): 大学見学、研究業務補助 8月31日(木): 実験準備等補助、司書業務補助 9月1日(金): 生協Jショップ業務補助、事務作業補助 |
| 3 | 9月6日(水) ～9月8日(金) | 福岡市立香椎第2中学校 | 吉村 利夫 教授・山下 哲生 教授 馬 昌珍 教授 | 職場体験学習 9月6日(水): 大学見学、司書業務補助 9月7日(木): 実験準備等補助、研究業務補助 9月8日(金): 生協Jショップ業務補助、実験準備等補助 |
| 4 | 9月26日(火) ～9月27日(水) | 福岡市立照葉中学校 | 山下 哲生 教授 石川 洋哉 准教授・松尾 亮太 准教授 | 職場体験学習 9月26日(火): 大学見学、研究業務補助 9月27日(水): 実験準備等補助 |
| 5 | 10月16日(月) ～10月18日(水) | 福岡県立宗像中学校 | 野依 智子 教授 山下 哲生 教授・宮崎 聖子 教授 | 職場体験学習 10月16日(月): 大学見学、講義準備補助、事務作業補助 10月17日(火): 研究業務補助、教職員研修見学、 生協Jショップ業務補助、事務作業補助 10月18日(水): 司書業務補助、国際化推進センター業務補助 |
| 6 | 9月16日(土) | 福岡市立城香中学校 | 武 継平 教授 チョウドリ マハブブル アロム 教授 | 城香フェスタ 「漢字をめぐる日中間の文化交渉」 「もっと知りたいアジア-バングラディッシュ-」 |



4. 教員免許状更新講習

教員免許更新制の免許状更新講習として、文部科学大臣の認定を受けて、選択必修領域と選択の3科目(国語、理科等、栄養)について、次のとおり開設しました。(参加者延べ225名)



1 選択必修 時間数: 6時間 実施場所: 地域連携センターセミナー室

| No. | 実施日 | タイトル | 担当講師 |
|-----|---------|---------------------------------|-----------|
| 1 | 8月5日(土) | あらゆる教育活動に活かす教育相談的態度と積極的傾聴(教育相談) | 鈴木 有美 准教授 |
| 2 | 8月6日(日) | アクティブラーニングで学ぶ道徳教育(道徳教育) | 森 邦昭 教授 |

2 国語 時間数: 6時間 実施場所: 地域連携センターセミナー室

| No. | 実施日 | タイトル | 担当講師 |
|-----|---------|-----------------------|---------------------------------|
| 1 | 8月1日(火) | 「国語」教材への視点 | 坂本 浩一 教授・橋本 直幸 准教授 |
| 2 | 8月2日(水) | 「国語」教材の講読Ⅰ | 月野 文子 教授・福岡教育大学 教育学部 沼尻 利通 准教授 |
| 3 | 8月3日(木) | 「国語」教材の講読Ⅱ | 坂口 周 講師・大久保 順子 教授 |
| 4 | 8月4日(金) | 境界を超える「文学」・「歴史」・「ことば」 | 渡邊 俊 准教授・福岡教育大学 教育学部 荻野 千砂子 准教授 |

3 理科等 時間数: 6時間 実施場所: 研究棟

| No. | 実施日 | タイトル | 担当講師 |
|-----|---------|-----------------------------------|-------------------|
| 1 | 8月7日(月) | 実践で学ぶ最新の生命科学・物質科学(1) 植物の光環境応答 | 田村 典明 教授・大坪 藤子 助手 |
| 2 | 8月8日(火) | 実践で学ぶ最新の生命科学・物質科学(2) ナメクジを使った神経科学 | 松尾 亮太 准教授 |
| 3 | 8月9日(水) | 実践で学ぶ最新の生命科学・物質科学(3) 界面分子膜の状態変化 | 池田 宜弘 教授 |

4 栄養 時間数: 6時間 実施場所: 地域連携センターセミナー室

| No. | 実施日 | タイトル | 担当講師 |
|-----|---------|----------------------------|------------------------------|
| 1 | 8月7日(月) | 食指導に活かす栄養学的・医学的基礎知識 | 中村 強 教授・濱田 俊 教授 |
| 2 | 8月8日(火) | 健康・運動と栄養状態から考える栄養管理実践の基礎知識 | 太田 雅規 教授・片桐 義範 教授 |
| 3 | 8月9日(水) | 学校における食の安全確保と食品の活用法 | 石川 洋哉 准教授・舟木 淳子 准教授・梅木 陽子 講師 |

参加した展示会 開催した講演会・セミナー

● エコ・ベンチャー・メッセ2017

日 時：10月11日(水)・12日(木)・13日(金) 場 所：西日本総合展示場新館

「エコ・ベンチャー・メッセ2017」(同時開催：エコテクノ2017)に、本学が出展しました。本学研究者の日頃の研究成果をまとめたパネルを展示し、開催期間を通して95名の方に、本学出展ブースを訪れていただきました。

● 第15回福岡女子大学産学官技術交流会「働く人の健康を考える～労働者の健康管理と健康経営～」

日 時：平成30年2月14日(水) 15:00～18:40 場 所：福岡女子大学 地域連携センター セミナー室2

主 催：福岡女子大学

共 催：古賀市、九州歯科大学、福岡県立大学

参加者：45名(教職員7名、市民等38名)

- ◇講演1 「労働者の健康問題の現状と最近の傾向」 太田 雅規 教授
- ◇講演2 「これからの労働者に求められるものとは？」 長野 真弓 教授
- ◇実演 「その場でできるアクティブレスト®」 森山 暎子氏 (一般社団法人10分ランチフィットネス協会 代表理事)
- ◇講演3 「正興電機における健康経営の取り組み」 有江 勝利氏 (正興ITソリューション株式会社 代表取締役社長)
- ◇講演4 「最期まで自分らしく生ききるまちづくり」 中村 由果氏 (古賀市 保健福祉部予防保健課長)

労働者の健康が企業の経営に与える影響やその現状、企業での取組事例等を産・学・官それぞれの立場からお話しいただきました。



▲長野 真弓教授 講演



▲森山 暎子 氏の講演



▲アクティブレスト実演

● 知的財産権セミナー

日 時：3月16日(金) 14:40～15:50

場 所：福岡女子大学地域連携センター 講義棟C201

講 師：土肥 一史 弁護士 (大本総合法律事務所 顧問)

「教育・研究と著作権」をテーマに、実際の判例等を交えながら、大学教職員として知っておくべき著作権の取り扱いについて解説していただきました。

共同研究・受託研究等に係る外部資金獲得の状況

平成30年3月1日現在

| 種 別 | 件数 | 金 額 |
|--|----|-------------|
| 共同研究 | 14 | 3,670,000円 |
| 受託研究 | 7 | 3,742,880円 |
| 寄附金 | 7 | 2,482,544円 |
| 科学研究費助成事業(日本学術振興会)研究代表者分 | 33 | 46,540,000円 |
| 科学研究費助成事業(日本学術振興会)研究分担者分 | 32 | 11,193,000円 |
| 平成27年度「大学教育再生加速プログラム(AP)」(文部科学省) | 1 | 14,372,000円 |
| 平成29年度「女性リーダー養成事業費補助金」(福岡県) | 1 | 2,343,000円 |
| 平成28年度「中小企業経営支援等対策費補助金」(一般財団法人九州産業技術センター) | 1 | 1,332,032円 |
| 平成29年度「福岡県つながる食育推進事業」(福岡県) | 1 | 887,300円 |
| 2016年度「第1回草の根技術協力事業(草の根協力支援型)」(独立行政法人国際協力機構) | 1 | 5,536,000円 |
| 計 | 98 | 92,098,756円 |

女性生涯学習研究部門

女性生涯学習研究部門では、女性のキャリアアップに資する教育プログラムや、年間を通して様々な公開講座・講演会を実施しています。

福岡女子大学 女性トップリダー育成研修

● 研修報告

福岡女子大学女性トップリダー育成研修は、主に管理職クラスの女性を対象として、トップリダーとして必要な素養を身につけネットワークを構築し、さらなる階層を目指すための研修で、昨年に引き続き、2回目の開催になります。

受講者に地元企業や団体で活躍する女性18名を迎え、女性トップリダーとして成長するための戦略プログラム「志」「感性」「教養」「行動」を軸に、産学官の第一線で活躍するトップによる講義と対話、グループディスカッション等を行いました。

日時：第1回 平成29年11月30日(木)～平成29年12月2日(土) 2泊3日宿泊研修
第2回 平成30年1月23日(火) 日帰りフォローアップ研修
会場：ホテル日航福岡

● 1日目

本研修最初の講義では、福岡女子大学 理事長兼学長の梶山千里が「トップリダーとリーダーの違い」と題し、本研修のねらいや受講生の方に身につけていただきたいことをお話ししました。続いて、福岡工業大学最高顧問 麻生 渡 氏の講義では、前福岡県知事としての経験に基づく、トップリダーに必要な心構え等をお話しいただきました。グループワークでは、両氏の講義を踏まえ、リーダーからトップリダーに成長するために必要なことについて議論しました。



梶山学長講義
「トップリダーとリーダーの違い
—女性トップリダー研修で身につけて欲しい事—」



麻生 渡 氏講義
「リーダー（管理職）に必要なこと」

● 2日目

福岡女子大学 国際文理学部教授 長野 真弓が、「新しい健康観に基づく組織の健康づくり」として、社員の健康問題が経営に与える影響についてお話しするとともに、オフィスで実践できるストレッチを学びました。太宰府天満宮 宮司 西高辻 信良 氏の講義では太宰府天満宮や福岡の歴史についてお話頂き、「素晴らしい志は自分の代で完結できなくても、次代に受け継がれてゆく」等、精神的な視点からの学びを得ました。午後からは（一社）九州経済連合会 会長 麻生 泰 氏による講義で、世界からみた福岡や日本の現状や、ご自身の経験を基にした、リーダーとしてのビジョンの持ち方等についてお話しいただきました。

この日のグループワークは、事前に受けていただいたnEQ分析（『人間力』を測定できる日本人向けの自己分析）を用い、自身の強み・弱みを踏まえ、トップリダーとしてどのように行動すべきか議論が行われました。

産学官トップリダーとの意見交換会 兼 夕食会では、リラックスした雰囲気の中、受講者がトップリダーの方々と直接お話し、様々なアドバイスや励ましの言葉をいただいていた。



麻生 泰 氏講義
「全てはリーダー次第、そのやりがいと責任」



西高辻 信良 氏講義
「精神的な視点の教養講座」



長野 真弓 教授講義
「新しい健康観に基づく組織の健康づくり」



産学官トップリダーとの
意見交換会、交流会（夕食会）



大曲副知事による意見交換会挨拶

● 3日目

篠原公認会計士事務所グループ代表篠原 俊 氏の講義では、企業の不祥事例等を通し、トップリーダーとして持つべき会計への心構えについて学びました。続いて、トップリーダーとして活躍中の女性を登壇者としてお招きしたトークセッションと、セッション登壇者と受講者による昼食会を開催しました。登壇者との交流により、受講者は女性リーダーならではの悩みや課題を共有することができ、トップを目指すさらなる励みとなった様子でした。午後は次回のフォローアップ研修での発表に向けて、自身が目指すトップリーダー像とそのためのアクションプランについてディスカッションを行いました。



篠原 俊 氏講義
「会計倫理の視座～トップリーダーに必要なアカウントビリティ～」



トークセッション「女性トップリーダーとしての生き方について学び考える」

● 4日目※日帰りフォローアップ研修

前回の宿泊研修で立てた「人間力を高める目標」について、本研修までの1ヶ月半でうまくいったことやその理由、今後の方針について発表・考察しました。G&S Global Advisors Inc.代表取締役社長 橋・フクシマ・咲江 氏の講義では、世界的なヘッドハンターとして活躍されるご自身の経験から、これからの時代のリーダーシップとその心構えの持ち方等についてお話いただきました。「自身が目指すトップリーダーとアクションプラン（自己宣誓）」では、受講生がトップリーダーになったと想定し、部下お客様に向けて自分の思いを宣誓し、全2回の研修の総括としました。

この自己宣誓を受け、梶山学長より「他とは違うユニーク(unique)なトップリーダーを目指してほしい」と激励のメッセージをお伝えしました。修了式では受講生一人ひとりに修了証が授与され、今後も本研修で得たネットワークを活かし、トップリーダーに向けて自己研鑽に励むことを誓い合い、研修の全課程を修了しました。福岡女子大学ではこれからも女性トップリーダー育成事業への取組みを推進してまいります。



橋・フクシマ・咲江氏講義
「新産業革命時代のリーダーシップ：変化を先取りするリーダーとは」



受講生による自己宣誓
「自身が目指すトップリーダーとアクションプラン」



修了証書授与



集合写真

女性トップリーダー育成研修 プログラム

| 第1回 | 内 容 |
|---------------------|---|
| 平成 29年 11月30日(木) | オリエンテーション、開講式 【志】 トップリーダーとリーダーの違い —女性トップリーダー研修で身につけて欲しいこと— 【志】 リーダー（管理職）に必要なこと 【志】 リーダーからトップリーダーに成長するために必要なこと 【感性】 トップリーダーのコミュニケーション 【NETWORK】 1期生（H28 受講生）を交えた交流会 |
| 平成 29年 12月1日（金） | 【感性】 新しい健康観に基づく組織の健康づくり 【教養】 精神的な視点の教養講座 【志】 すべてはリーダー次第、そのやりがいと責任 【行動】 自己分析を踏まえたトップリーダーの行動 【NETWORK】 産学官トップリーダーとの意見交換会、交流会 福岡工業大学最高顧問／前福岡県知事 麻生 渡 (株)ひよ子代表取締役社長 石坂 淳子 福岡商工会議所会頭 磯山 誠二 福岡県副知事 大曲 昭恵 (株)やずや代表取締役会長 矢頭美世子 福岡女子大学理事長・学長 梶山 千里 他4名 |
| 平成 29年 12月2日（土） | 【教養】 会見倫理の視座 —トップリーダーに必要なアカウントビリティ— 【感性】 ロールモデルによるトークセッション・昼食会 (株)ジャパントイムズ執行役員 大門小百合 城山観光(株)常務取締役 執行役員 玉川 恵 (株)コングレ 取締役執行役員 九州支社長 西村真規子 目指すトップリーダー像とそのためのアクションプラン |
| 第2回 | 内 容 |
| 平成 30年 1月23日（火） | 第1回研修で各自が課題とした項目の達成状況等の振り返り 新産業革命時代のリーダーシップ：変化を先取りするリーダーとは 自身が目指すべきトップリーダー像とアクションプラン（自己宣誓） 講評、修了式 |

女性生涯学習研究部門

平成29年度 福岡女子大学 公開講座

◆ How to Learn English Effectively] (全3回開催)

福岡女子大学では、平成24年度から英語能力向上を目指す方向への講座を開催しています。昨年度に引き続き、平成23年度に設置された国際文理学部の特色の一つである、学術英語プログラム (AEP: Academic English Program) の教員が講師を担当する英語力習得のための講座です。



▲第1回 [Learning English through Extensive Reading]



▲第2回 [Learning English through Literature]



▲第3回 [Learning English through Confident Speaking]

◆ エネルギー政策と原子力の危機管理

戦後の日本のエネルギー政策の変遷、地球温暖化、福島原発事故など日本が直面する諸問題について考察しました。また、原子力に頼らないCO2削減方法と未来のエネルギーシステムへの道筋について解説し、日本のエネルギー問題の今後について考えました。



◆ 充実した暮らしをサポートするまちづくり： 有機的な地域システムとは

アイランドシティにおいて実施した研究「女性の社会における活躍推進と持続可能な地域経済に関する研究」の成果報告を中心に、経済学という視点から、暮らしやすい、住み続けたいまちづくりについて解説しました。

◆ ドイツ映画Ⅲ:移住背景を持つ監督の映画 (全4回開催)

ドイツの難民受け入れにおいて、異文化圏の難民・移住者がドイツ社会へ適合できるかと疑問視されていることについて、移住の背景を持つファティ・アキン監督や、ヤセミン・サムデレリ監督のドイツ映画を鑑賞し、これらの作品を通じて移住者の現状について考察しました。

【鑑賞作品】

- ・『愛より強く』(2004年)
- ・『そして、私たちは愛に帰る』(2007年)
- ・『ソウル・キッチン』(2009年)
- ・『おじいちゃんの里帰り』(2011年)



◆ 韓国の裁判制度における「司法の反日化」という現象

慰安婦や領土問題などで韓国政府が「反日化」へと傾斜した主な要因としては、韓国の裁判所による司法的な影響があるといわれています。本講義では、韓国における司法の役割とその問題性を明らかにしました。



福岡女子大学 生涯学習カレッジ2017

受講者と大学が共に学ぶアクティブな学習の場として平成27年度にスタートしました生涯学習カレッジは、“感性”を学習の柱とした、学びの中に「遊び心」を取り入れたプログラムで、前半は『文化芸術と地域の歴史』、後半は『食文化』をテーマに全13回のシリーズを大学キャンパスや学外をフィールドに実施しました。

第1回の本学梶山学長による講演「感性とは」でスタートした前半では、十四代今泉今右衛門先生による作品解説・講演、福岡女子大学美術館での「対話型美術鑑賞」を行いました。また志賀海神社、筥崎宮での現地学習等、芸術に触れ、歴史を学ぶの中で、受講生たちは「感性」を色々な側面から刺激されたようでした。

後半では、ビール工場の見学と出来たてのビールの試飲、また、薬膳料理を楽しみながらその効能を学ぶなど「学びプラスα」の体感型プログラムを実施しました。

プログラム全体を通して受講生からは「個人ではなかなか受講できない講座もありよかったです」、「感性を磨くことのできる素晴らしいプログラムでした」といった感想をいただき、大変有意義なカレッジとなりました。



▲第1回「開講式」



▲第3回「西部伝統工芸展ギャラリートーク」
「色鍋島と今右衛門」



▲第5回「思考を刺激する美術鑑賞」



▲第6回「志賀海神社の歴史と文化」



▲第7回「筥崎宮の歴史と文化」



▲第8回「ビールを飲んで、文化を味わう」



▲第10回「心も身体も潤うお家薬膳」



▲第13回「修了式」

●平成29年度公開講座・講演会等開催一覧

| 事業名称 | 開催内容 | 教員名・講師名 | 講座数 | 延べ受講者数 | |
|-------------------------------------|--|------------------------------|---|--------|------|
| 平成29年度公開講座(全10回) | 【How to Learn English Effectively】(全3回) [定員] 先着30名 [対象] TOEIC400点以上もしくはそれと同等の英語力をお持ちの方 | | | | |
| | ① 6月10日(土) Learning English through Extensive Reading | Arina BRYLKO | 学術英語プログラム講師 | 3 | 64 |
| | ② 6月17日(土) Learning English through Literature | 大谷 英理果 | 学術英語プログラム講師 | | |
| | ③ 6月24日(土) Learning English through Confident Speaking | Timothy PRITCHARD | 学術英語プログラム講師 | | |
| | 7月28日(土) エネルギー政策と原子力の危機管理 | 藤岡 祐一 | 福岡女子大学教授 | 1 | 25 |
| | 9月2日(土) 充実した暮らしをサポートするまちづくり：有機的な地域システムとは | 中村 大輔 | 福岡女子大学准教授 | 1 | 20 |
| | 【ドイツ映画Ⅲ：移住背景を持つ監督の映画】(全4回) | | | | |
| | ① 9月29日(金) 第1回 ドイツの移住民 | Sven HOLST | 福岡女子大学准教授 | 4 | 56 |
| | ② 10月6日(金) 第2回 移住民についての映画、移住民よりの映画 | Sven HOLST | 福岡女子大学准教授 | | |
| | ③ 10月13日(金) 第3回 移住民の文化貢献 | Sven HOLST | 福岡女子大学准教授 | | |
| ④ 10月20日(金) 第4回 移住国ドイツはこれからどうなる | Sven HOLST | 福岡女子大学准教授 | | | |
| 2月17日(土) 韓国の裁判制度における「司法の反日化」という現象 | 岡 克彦 | 福岡女子大学教授 | 1 | 17 | |
| 生涯学習カレッジ2017(全13回) | ① 5月20日(土) 開講式、感性とは | 梶山 千里 | 福岡女子大学理事長・学長 | 13 | 273 |
| | ② 5月27日(土) 歴史に学ぶ日本の未来ー経済・教育・防災(九州市民大学) | 磯田 道史 | 国際日本文化研究センター准教授・歴史学者 | | |
| | ③ 6月10日(土) 西部伝統工芸展ギャラリートーク、色鍋島と今右衛門 | 十四代 今泉・今右衛門 | 陶芸家・人間国宝 | | |
| | ④ 6月30日(金) 平家物語の本当の面白さ～人間的な、あまりに人間的なこの軍記文学(九州市民大学) | 林 望 | 作家・国文学者 | | |
| | ⑤ 7月15日(土) 思考を刺激する美術鑑賞 | 古賀 弥生 | アートサポートふくおか代表・活水女子大学教授 | | |
| | ⑥ 7月29日(土) 志賀海神社の歴史と文化 | 鬼本 佳代子 | 福岡市美術館主任学芸主事 | | |
| | ⑦ 8月26日(土) 筥崎宮の歴史と文化 | 平澤 憲子 | 志賀海神社権禰宜 | | |
| | ⑧ 9月16日(土) ビールを飲んで、文化を味わう | 田村 靖邦 | 筥崎宮宮司 | | |
| | ⑨ 9月30日(土) 福岡うまかもん今昔物語 | 田村 邦明 | 筥崎宮権禰宜 | | |
| | ⑩ 10月14日(土) 心も身体も潤うお家菜膳 | 相澤 正幸 | アサヒビール株式会社博多工場理理工場長 | | |
| | ⑪ 11月4日(土) らくらく認知症予防法 食で元気になるコツを教えます! | 岡部 定一郎 | 郷土史研究者 | | |
| | ⑫ 11月28日(火) 文楽への招待(九州市民大学) | 尹 玉 | 東方薬膳学院院長・養生文化館館長 | | |
| | ⑬ 12月2日(土) 修了式 1年を振り返って | 村上 祥子 | 福岡女子大学客員教授・料理研究家・管理栄養士 | | |
| 連携公開講座・シンポジウム | 第9回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム in 福岡「女性リーダー育成と大学の役割」 9月25日(月) | | | | |
| | 第一部 基調講演「大学の男女共同参画と求められる女性リーダー」 | 村松 泰子 | 公益財団法人日本女性学習財団 理事長 | 1 | 164 |
| | 第二部 パネルディスカッション 「女性リーダー育成のためのアクションプラン」 | 菊川 律子 山村 康子 他 | 放送大学福岡学習センター所長 国立研究開発法人科学技術振興機構プログラム主管 | | |
| | 福津市との連携公開講座「中学生への理系のススメ」 主催：福岡女子大学 共催：福津市 11月3日(金・祝) [対象] 中学1～2年生 | 池田 宣弘・瀧下 清貴 大坪 繭子 | 福岡女子大学教授 福岡女子大学助手 | 1 | 14 |
| | 東部地域大学連携東区委託事業シンポジウム「超高齢・長寿社会を支える地域力について考える」 主催：福岡市 企画運営：東部地域大学連携(福岡女子大学、福岡工業大学、九州産業大学) 3月10日(土) | | | | |
| 第一部 調査・研究発表 | 益村 真知子 | 九州産業大学教授 | 1 | 157 | |
| ① 福岡市東区における多様な就労の可能性～地域力向上の観点から～ | 萱沼 美香 | 九州産業大学准教授 | | | |
| ② 少子高齢社会における1人ひとりの活躍と地域力に係る空間厚生経済分析 | 中村 大輔 | 福岡女子大学准教授 | | | |
| ③ 多世代による地域力向上に向けた人材の発掘・育成・承継 | 学生 | 福岡女子大学ミクロ経済学研究室 | | | |
| 第二部 パネルディスカッション | 松藤 賢二郎 岩永 哲郎 他 | 福岡工業大学教授 福岡市東区役所総務部地域支援課長 | | | |
| 交流会 | 第15回福岡女子大学産学官技術交流会「働く人の健康を考える～労働者の健康管理と健康経営～」 主催：福岡女子大学 共催：古賀市、九州歯科大学、福岡県立大学 2月14日(水) | | | | |
| | ◇講演1 「労働者の健康問題の現状と最近の傾向」 | 太田 雅規 | 福岡女子大学教授 | 1 | 45 |
| | ◇講演2 「これからの労働者に求められるものとは？」 | 長野 真弓 | 福岡女子大学教授 | | |
| | ◇実演 「その場でできるアクティブレスト®」 | 森山 映子 | 一般社団法人10分ランニング協会 代表理事 | | |
| | ◇講演3 「正興電機における健康経営の取り組み」 | 有江 勝利 | 正興 ソリューション株式会社 代表取締役社長 | | |
| | ◇講演4 「最期まで自分らしく生ききるまちづくり」 | 中村 由果 | 古賀市 保健福祉部予防健康課長 | | |
| ◇講演5 「登壇者によるパネルディスカッション」 | 松田 美幸 他 | 福岡女子大学 学長特別補佐 | | | |
| 講演会・研修 | 第363回国連講演会「人道支援」 6月29日(木) | 田北 多絵 | 外務省国際協力局緊急・人道支援課事務官 | 1 | 88 |
| | 外部資金獲得セミナー 9月14日(木) | 児島 将康 | 久留米大学 分子生命科学研究所教授 | 1 | 15 |
| | コンプライアンス・研究倫理教育研修 9月28日(木) | 西 秀雄 | 新日本有限責任監査法人 公認会計士 | 1 | 31 |
| | 第2回女性トップリーダー育成研修 第1回宿泊研修 11/30～12/2 第2回フォローアップ研修 1/23 | | | 1 | 20 |
| | 山中伸弥先生ノーベル賞受賞記念講演会 「iPS細胞がひらく新しい医学」 3月5日(月) | 山中 伸弥 | 京都大学 IPS細胞研究所所長 | 1 | 約900 |
| | 知的財産権セミナー 3月16日(金) | 土肥 一史 | 大本総合法律事務所 顧問 | 1 | 14 |
| | 第2回福岡女子大学「新能」 主催：福岡女子大学、福岡女子大学同窓会筑紫海会 5月29日(月) | 山本東次郎 観世 喜正 | 能楽師 能楽師 | 1 | 395 |
| 合計 | | | 34 | 2,298 | |

福岡女子大学では、福岡女子大学学生・卒業生による研究に対し、1件5万円の学術研究助成金を交付しています（公募枠）。また、修士・博士課程2年生で、各コース、各領域の推薦を受けた学生に対しても、1件3万円（各コース、各領域1名）の助成金を交付しています（推薦枠）。

募集期間は、毎年5月1日～5月31日です。ご興味をお持ちの方は、福岡女子大学または地域連携センターのホームページ等でご確認ください。

平成29年度の交付について

<公募枠学術研究助成金>

審査の結果、次の1件の研究に対し、助成金を交付しました。

原田 由美（福岡女子大学大学院 人文社会科学部 社会科学専攻 国際産業社会コース2年）

「ホワイトカラーの労働時間とワーク・ライフ・バランスの

関係性についての研究：ワーク・ライフ・バランスは誰のためのものか」

<推薦枠学術研究助成金>

各専攻から次の5件の推薦があり、審査の結果、この研究に対し助成金を交付しました。

（人文社会科学部 社会科学専攻 国際関係コース及び人間環境科学研究科 人間環境科学専攻 環境マネジメント領域は該当者なしのため交付はありません。）

美 玲（福岡女子大学大学院 人文社会科学部 言語文化専攻 日本語文化コース2年）

「因果関係を表す表現の研究—アカデミックジャパニーズの観点から—」

中尾 ロシオ（福岡女子大学大学院 人文社会科学部 言語文化専攻 英語圏言語文化コース2年）

「迂言的用法DOの発達について—エリザベス一世の書簡集にみる助動詞DOの特徴」

藤野 夏海（福岡女子大学大学院 人文社会科学部 社会科学専攻 国際産業社会コース2年）

「持続可能な地域づくりに関する研究—女性のライフスタイルに着目した分析—」

菊池佑美佳（福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科 人間環境科学専攻 栄養健康科学領域2年）

「におい分析に基づく高品質・高機能食品の創製に関する研究」

吉永 美和（福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科 人間環境科学専攻 環境自然科学領域2年）

「アフリカツメガエルの発生及びがん抑制に関するp53の発現解析」

地域連携センターからのお知らせ

● セミナー室利用案内について

地域連携センターではスポーツキューブ2階のセミナー室2及びセミナー室3の施設利用を受け付けています。ご利用には条件があります。ご希望の方はご相談ください。



● 教員データブック

2018を発行します

福岡女子大学教員の研究概要、著書・論文等を掲載したデータブックです。ぜひご利用ください。



● 新しい正門が完成しました

平成29年3月、学内グラウンドの竣工をもちまして新キャンパスの整備が全て完了しました。それに伴い、地域連携センターの近くに正門が移動しました。より身近になりました地域連携センターへ、どうぞお気軽にお立ち寄りください。



福岡女子大学 平成30年度公開講座のご案内

福岡女子大学では、地域の皆さまの生涯学習の場を提供するため、毎年、様々な公開講座を企画実施しています。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお申し込みください。

【How to Learn English Effectively】(会場：図書館棟1階 LL教室)

福岡女子大学の学部1～2年生が履修する英語力習得のためのAcademic English Programを担当する専任講師による英語講座です。

受講料：各回500円（3回分まとめて申込みの場合は1,000円）※高校生無料

定員：30名

対象：TOEIC 400点以上もしくはそれと同等以上の英語力をお持ちの方

| 講座番号 | 日程 | テーマ | 概要 | 講師 |
|------|-------------------------|--------------------------------------|---|--|
| A-1 | 11/10(土) 10:00～11:30 | Learning English through Reading | In 3 lectures, each AEP instructor will each explain one facet of how people can improve their English skills. As most of the lectures will be given in English, participants are required to have intermediate English comprehension skills. | 都地 沙央里 (AEP instructor・学術英語専任講師) |
| A-2 | 11/17(土) 10:00～11:30 | Strategies for Building Conversation | | Timothy PRITCHARD (AEP instructor・学術英語専任講師) |
| A-3 | 11/24(土) 10:00～11:30 | Success in English Tests | | Scott SMITH (AEP instructor・学術英語専任講師) |

【異国へのいざない～世界を知ろう～】(会場：地域連携センター2階 セミナー室2) 受講料：各回500円 ※高校生無料

国際社会における、外国とその地域の事情について解説します。

| 講座番号 | 日程 | タイトル | 概要 | 講師 |
|------|------------------------|------------------------------------|--|-------------------------------|
| B-1 | 6/2(土) 10:00～11:30 | 現代台湾における女性―エスニシティ(民族性)とジェンダーのせめぎあい | 台湾は男女共同参画が進んでいると言われていて、その現状と歴史的背景について考えます。 | 宮崎 聖子 (国際教養学科教授) |
| B-2 | 8/25(土) 10:00～11:30 | バングラデシュにおけるグラミン銀行の貧困緩和の方法 | 貧困層を対象とする小規模融資機関として銀行の役割と、教育や社会開発における活動などのNGOの役割とを果すグラミン銀行の貧困対策とその背景について解説します。 | チョウドリ マハブブル アロム (国際教養学科教授) |

【知の発信2018】(会場：地域連携センター2階 セミナー室2) 受講料：各回500円(4回分まとめて申込みの場合は1,500円)※高校生無料

福岡女子大学の研究に興味を持っていただくため、それぞれの専門領域を一般の方向けにわかりやすくご紹介いたします。

| 講座番号 | 日程 | タイトル | 概要 | 講師 |
|------|--------------------------|------------------------|---|----------------------|
| C-1 | 7/28(土) 10:00～11:30 | 外交官は任地の言葉をどうやって会得するのか | 日本人にとって、英語で仕事をするだけでも大変なのに、外交官は時としてフランス語だったり、インドネシア語だったり、中国語だったり、いろいろな言葉の環境の中で暮らして仕事をしています。どうやって言葉を覚えて、使えるようになるのでしょうか。 | 山下 哲生 (国際教養学科教授) |
| C-2 | 8/11(土・祝) 14:00～15:30 | 読み直すラフカディオ・ハーン(小泉八雲) | ラフカディオ・ハーンは日本でも親しまれている作家です。「雪女」「耳なし芳一」などの怪談が読まれてきたばかりでなく、今もさまざまな形でハーンの文化的遺産が受け継がれています。ハーンを現代の目で読み直します。 | 長岡 真吾 (国際教養学科教授) |
| C-3 | 9/8(土) 10:00～11:30 | 地域での共創と次代を担う世代へのサポート | 地域での共創として様々な取り組みが検討されていますが、本講座では、次代を担う世代へのサポートをテーマに、これまでに実施した分析などに基き、長期的に安定した自立可能な地域づくりについて考察します。 | 中村 大輔 (国際教養学科准教授) |
| C-4 | 10/6(土) 10:00～11:30 | 漱石文芸の哲学的基礎 一則天去私の文学の道一 | 文学とは何か。人間とは何か。人生とは何か。漱石は一連の問いを真面目に発して応答する。だからテキストの語りは深く力強い。漱石最晩年の鍵語「明暗双双」「則天去私」に、そのリアリズムの神髄を探りたい。 | 望月 俊孝 (国際教養学科教授) |

【自分メンテナンス！～健康な体を維持するために～】(会場：地域連携センター2階 セミナー室2) 受講料：各回500円 ※高校生無料

日々の食事での工夫や注意点等に医師、管理栄養士の視点からアプローチします。

| 講座番号 | 日程 | テーマ | 概要 | 講師 |
|------|------------------------|--------------------------------------|---|---------------------|
| D-1 | 9/15(土) 10:00～11:30 | 生活習慣病や介護予防としての健康増進活動 | 身体活動や食習慣などの生活習慣について、生活習慣病や介護予防の側面から、実際の活動例も交えてお話しします。 | 太田 雅規 (食・健康学科教授) |
| D-2 | 10/9(火) 10:30～12:00 | 美味しく続ける減塩ライフ【試食付】～高血圧予防の食生活～(定員:30名) | 高血圧予防の食事のポイントや、美味しく続けられる減塩の工夫について、体験をしていただきながらご紹介いたします。 | 梅木 陽子 (食・健康学科講師) |

備考

- * 性別・年齢を問わず受講できます。
- * 各回申込みとするか、まとめて申込みとするかは、お申込み時にお知らせください。まとめて申込みの受講料のお支払いは、シリーズの初回のみ受け付けます。(最終回での割引額返還等はいたしません。)
- * 会場は、福岡女子大学 図書館棟LL教室(A講座)または地域連携センター(B・C・D講座)を予定していますが、変更になる場合があります。
- * 学内には駐車場が十分にございませんので、恐れ入りますが公共交通機関をご利用ください。
- * 悪天候等により、講座日時が変更になる場合があります。詳細はお電話等でお問い合わせください。
- * わせいただくか、ホームページをご確認ください。
- * 講師や他の受講生に迷惑となるような行為、講座の進行を妨げるような行為を行った場合、受講をお断りすることがあります。このような場合でも、納入された受講料は返還いたしません。
- * 講座中の傷病について、本学として責任を負いかねる場合がありますので、お体の不調や異常を感じた時は参加を見合わせるなど、自己の責任において健康管理に十分ご注意ください。
- * 講座中の盗難、通学途中の傷病、その他の事故について、本学は一切責任を負いません。

申込方法

- * E-mail、Fax、ハガキのいずれかに、①希望講座番号、②氏名(フリガナ)、③住所、④電話番号、⑤年齢、⑥Fax番号(Fax申込の方)をご記入の上、地域連携センターまでお申込みください。お電話でも受け付けております。
- * 受講証は発行していません。また、定員のある講座のみ参加可否をお知らせしています。(定員のない講座はお申込みいただいた方全員が参加できます)

●センター内託児室およびセミナー室にて、託児サービスを行っています(業者委託/先着5名・無料/対象：乳幼児から小学6年生まで)。利用を希望される方は、講座開催日の10日前(土日祝除く)までに、直接委託先へお電話ください。費用は大学が負担します。

(委託先) (株) テノ・サポート
〒812-0036 福岡市博多区上呉服町10-10
フリーダイヤル 0120-8000-29(受付時間：平日9時～19時)

■お申込み・お問い合わせ 福岡女子大学 地域連携センター 〒813-8529 福岡県福岡市東区香住ヶ丘1-1-1

TEL：092-661-2728(直通) / 092-661-2411(代表) Fax：092-692-3220

E-mail：kyomenkow@fwu.ac.jp URL：http://www.fwu.ac.jp/collaboration/

★ご提供いただいた個人情報、公開講座等の実施・運営、地域連携センターからのご案内等に使用させていただきます。他の目的には使用いたしません。

[発行] 福岡女子大学地域連携センター